

# SONY

ソニーが（ハリウッドで）、はじめた未来。

Sony Pictures Studios | fact 11  
Los Angeles, U.S.A.



For the Next Generation  
地球の未来を、グリーンに。ソニーのエコロジー

テレビや映画で使用したセットをオープンに貸し出し、再利用を推進。  
ソニーの環境への取り組みが、ハリウッドに広がっています。

#### 約14,000点ものテレビと映画のセットが再利用可能に

ここはアメリカ、ロサンゼルスハリウッド近郊の倉庫。この中には約14,000点ものテレビや映画のセットがストックされています。映画の撮影では大規模なセットを組みますが、そのほとんどを撮影後に廃棄します。そこでソニー・ピクチャーズエンタテインメントでは、1990年にテレビ番組のセットを、2001年に映画セットの再利用をスタート。当初は自社内だけの再利用でしたが、2002年に業界で初めてWeb上での貸し出しを開始、他の映画制作スタジオやテレビ制作会社への貸し出しも行っています。その結果、2007年には年間約14,000点ものセットが再利用可能となり、これをすべて新たに作り直した場合と比較すると、413トンもの資源が節減できました。また、再利用できないセットの一部はチャリティー団体へ寄付しています。ソニー・ピクチャーズでは、環境への取り組みを社外にも広めていくことで、より大きな効果が生まれると考えているからです。



テレビや映画のセットがストックされている倉庫内

#### 太陽光発電やLED照明の利用も積極的に推進

さらにソニー・ピクチャーズでは、テレビや映画を撮影するときのエネルギーの削減にも積極的に取り組んでいます。映画007\*1シリーズの最新作「007/慰めの報酬」の撮影では、エネルギー効率が良いLED照明を使用。「ダ・ヴィンチ・コード」の制作スタッフによる2009年公開の新作「天使と悪魔」では、可動式のソーラーパネルを実験的に使用し、キャストのトレーラーハウスの電源をまかなうなど、新たな取り組みもはじめています。また、ソニー・ピクチャーズは、映画業界で唯一ISO14001\*2の認証を取得。2008年3月にはオフィスビルの屋上に196kWの太陽光発電設備を設置し、この設備で発電した電力をスタジオ内で使用しています。これにより、年間約100トンのCO2排出削減が期待できます。ソニー・ピクチャーズのこだわりは、世界中に感動を届ける映画をつくること。だからこそ、環境に配慮した作品づくりをめざして、ソニーのつくる未来が、はじまっています。

\*1: 007 and related James Bond trademarks © 1962-2008 Danjaq, LLC and United Artists Corporation. QUANTUM OF SOLACE, 007 and related James Bond trademarks are trademarks of Danjaq, LLC. All Rights Reserved.  
\*2: 環境マネジメントシステムの国際規格。企業などが組織活動にともなう環境への影響を継続的に改善していく仕組み。



ソニーはWWF(世界自然保護基金)が推進するクライメイトセイバーズ・プログラムに参加し、CO2をはじめとする温室効果ガスの排出量を絶対量で減らす目標を掲げて、第三者機関の検証のもとに実施しています。

さらに詳しい内容をWebサイトでご紹介しています

[www.sony.co.jp/eco/](http://www.sony.co.jp/eco/)